

松江の文化についての意見

藤間信之輔

松江に初めてお伺いしてからもうすぐ15年程になります。松江武者行列に係わらせて頂く事で初めて松江市に入りました。

お城があるのはいいなあと思ったのが第一印象だったように思います。その後、廃城令から松江城を守った勝部氏、景浜氏、高城氏らの存在を知り現存する松江城の素晴らしさを更に感じました。その後も天災や戦争を経ても現存し続ける国宝松江城。築城から現在まで当時の姿を残す事は並大抵の事では無いです。城＝ランドマークがある事は市民の皆様の心の何処かに誇らしい気持ちがあると思います。これは、普通な事では無くとてつもなく有り難く凄い事です。松江城で言うと「堀川遊覧」このネーミングは、地元の方には馴染みがありどのようなコースを通るか分かっていると思いますが、県外・インバウンドの皆様はお城の周りを一周する位のミニマムなイメージが強いと思います。自身もその1人でしたが、乗ってみたら感激でした。町中をめぐるイメージがなかったので、お城から離れお城に戻ってくる。しかも町中が石垣の上に作られている事を知りました。江戸から現代の石垣をめぐる遊覧は、他にあるのでしょうか？そこで思ったのが「堀川遊覧」を「堀川町中めぐり」や「堀川石垣遊覧」などにした方がイメージが広がり乗船率が上がるように思いました。お堀に落ちそうで落ちない変わった形で耐えている松の木に「ねばり松」や「おちぬ松」などのネーミングをつける事で受験生や観光客が必ず行きたい場所、インスタ映えスポットになる気がします。

今年は、東出雲町にも行かせて頂きましたが、「稀地」と言う言葉が頭を過りました。なんだか古代に戻り神話の世界に誘われた感覚でした。地域に残る神話も面白かったです。既にあるかと思いますがアニメーション化し市内の子供達が住んでいる町に興味を持つきっかけになると良いですね。市民のアイデンティティーは、子供だから分からないと言う考え方では無く、子供の内から育んで行く考え方が必要だと思います。現在7つの保育園に日本舞踊を教えに行っています。浴衣を着て三味線や鼓の曲で踊るだけでも、日本人としてのアイデンティティーを後々感じて貰えればと思い日々稽古をしています。

このコロナで新たな時代が始まりましたが、小泉八雲氏が感じた異文化との共生の思想は今後重要になってくると思います。世界が近代化に重きを置きすぎた結果、世界がこのような状況になったとも考えられます。自然があつての地球です。加速する近代化と自然との共生が同等に考えられる事を願う日々です。SDGsのような考え方が浸透すると良いと思っています。現在、アイヌ民族の伝統芸能

の底上げをする仕事をさせて頂いているのですが、学ぶことが多々あります。添付の資料では多文化共生となっていますが、「異文化共生」や「異文化との共生」が良いかもと感じました。

松江と金沢は茶道と和菓子の文化が盛んで似ていますね。松江歴史館のきはるの和菓子は美しさと美味しさに驚愕しました。後継の職人さんが見つかり技が継承される事を切に願います。松江に来たらきはるで和菓子とお茶を飲み歴史を学び市街を観光出来ると良いですね。金額も含めて資料館を見学される方を増やすことが重要かと思います。

松江はホーランエンヤや鑿行列など神社と共に他にはないお祭りが残っています。新しい事を始めるのは大切ですが、数多の市民が継承して来た事を紡ぎ磨く事も大切ですね。国宝松江城が更に輝くよう松江武者行列のお手伝いをさせて頂きたいと思います。いつの日か伝統ある松江武者行列と言われるお祭りになりますように。

言わずと知れた宍道湖は、知り合いのカメラマンが毎日のようにFBにあげてくれます。なんとも美しく心洗われます。シジミの貝殻を使用したアートフェスなどがあったら面白いですね。シジミ甲冑を作りたいのですが、中々前に進みません・・・

水の都と言えば松江とより認知されるようアイデアが湧きますように！

なんだか、取り留めの無いような内容ですが、少しでもお役に立てればと思います。